

今年

ネズミ

三年

今年は十二支の、一番手、ネズミの年です。

十二支にはトラとかタツとか立派な動物も多いのに、なぜネズミがトップ・バッターなのか。これは昔、中国で時刻や方角を表わすのに用いた子(し)、丑(ちゅう)、寅(いん)……の十二の方位に、それぞれ動物を当てはめたことに

よるものです。

ネズミは、齧歯目ネズミ科に属する哺乳類、上下のあごにそれぞれ一對の大きな門歯のあるのが特徴で、これは終生伸び続けます。

子供の乳歯が抜けると「ネズミの歯になれ」と高く放り上げたりするのは、リス、ヤマアラシもそうですが、齧歯目動物の門歯が丈夫なのにあやかるうというものです。

南極など一部の地域を除き、地球上に広く分布、生息するネズミは、その種類約一、八〇〇にも及ぶといわれています。

繁殖力が強いのは、ネズミ算という言葉があることから分かります。例えば、種類によって一度に二〇匹近くも生むことがあり、その子供も五〇日前後で成育してまた子供を生む——。ネズミの数は、都市ではほぼ人口と同数、田舎ではその二〜三倍といわれています。

数が多く、農作物や食料品を食い荒らすことから、ネズミの評判、はよくありませんが、半面、縁起がいいとして尊ばれている例

も少なくありません。

特に白ネズミは、昔、大黒様の使者といわれ、吉兆とされてきました。一方「古事記」には、ネズミが火の中からオオクニヌシノミコトを助け出す話が出ています。

また「年寄り」とネズミのおらぬ家にもあります。これは、「ネズミがいなくなると火事になる」とか、ネズミは「火事の三日前に逃げだす」「三年いないと火事になる」などという言い伝えと関係がありそうです。

「評判」の良い悪いにかかわらず、昔から、人間にとってネズミは身近な存在であったことが分かります。

ところで、ネズミ色という言葉最近ではあまり使われなくなりました。グレーが一般的です。

ちなみに、流行色についての調査・研究を行っている日本流行色協会によると、今年の色調つまり、傾向色はライト・グレイッシュ・カラー。明るい灰味をもった色ということですが、ネズミ年が明るい良い年でありますように。



新 民 生 児 童 委 員 の

顔ぶれと担当区域 (58.12.1.改選)

氏名	電 話	担当区域
原田 政美	二一〇三四五	亀田・植松・杣地・荒人
中原 典子	二一〇二一六	有宗・広中・長久・稲石
中村 房枝	二一〇五一七	人丸・新別名
清水 勇	二一〇一八四	駅通
瀬戸 政子	二一〇二一一	東大坊・大迫
荒田 勝	二一〇三二一	大坊・芝崎・坂根・田上・二ノ瀬
高橋 昭子	二一九四七	山根・札場・河原浦
入江 久代	二一三三三	大江・浅井・尾崎・里伊上浦
蓮 暎子	二一一二二一	岡・宮ノ馬場・上り野・前方
金子 篤子	二一七三九	須方・綾古・貝川
福田 察狭代	二一〇六三七	蔵小田上・蔵小田下
中村 美代子	二一〇六六四	中畑
石原 昇	二一〇六六一	渡場
西川 之太	二一〇六一一	掛淵
岡本 義富	二一六八六	上津黄・東津黄・西津黄
島田 昭夫	二一〇六八	東後畑・大畠
山縣 明	二一〇〇九六	東立石・西立石
山本 等	二一一四三	青村・小田
宮川 秀佳	二一四二三	赤屋・木吹・大川尻
岡崎 ヒサ子	四一三三七	中ノ森・上野東
村上 満穂	四一〇二九二	田久道・白木
坂本 梅吉	四一〇六四一	久津
浅山 タミ子	四一〇六一二	大和・本郷
廣田 正市	四一〇六四五	山崎・南方
川口 真次	四一〇二二二	大浦東
山崎 茂夫	四一〇二八一	大浦西
福田 利夫	四一〇〇八〇	油谷
田村 精作	四一〇五〇〇	上野西・水岬
江原 三郎	四一〇四五三	川尻東
中原 白道	四一〇四二七	川尻西

子供のことでの悩みは

民生児童委員に

最近、児童の養護やしつけ、非行などの問題がマスコミにとりあげられています。委員にご相談されるか、救済児童相談所(風裁二一一五〇)へおたずねください。